

はじめに

「英文を読んだり，文法の理解はある程度できて，会話をしたり，しっかりした英文を書くことにそれを結びつけるのは難しい。」という相談をよく受けます。実際に，このように感じる学生の皆さんも多いかと思えます。そのような要望に応えるべく，本書を作成しました。

本書は，英語の文法の復習をし，その上で英語の基本であるパラグラフをよく理解するための練習を行います。英語の文章を一語一句日本語に訳すことなく理解して，同時に聴き，話し，書くことができるよう工夫しました。単に文法の知識を深めたり，よりよく読めるのみでなく，直読直解をして，英語を使えるようにするのが目的です。英語の4つのスキルの運用を中心に学習をすることで，最小限の文法（Lesson1～17）とパラグラフの基本理解（Lesson18～22）とが，実際のコミュニケーションに有機的に結びつくよう配慮されています。

文法やパラグラフの説明は最小限度にとどめ，そして例文も基本的かつ実際に使用されているものを集めています。内容も英米文化を紹介するものを多くし，意味のある内容にしています。読解は300・400語の英語の文章を直読直解すること，会話は起こり得る状況を考慮しています。話す練習や書く練習では，自分，家族，趣味，スポーツ，大学，ホームタウン，日本文化などを話し，まとまりのあるものを書くことを目指しています。

各課では，まずはじめに多くの例文を使用して，要点を簡単に解説しています。次の読解練習は，1ページの読み物を直読直解する練習です。「本課のポイント」を踏まえ，実際の文章で文法項目やパラグラフの構成を確かめてください。Comprehensionの問題は，直読直解を助けるもので，Grammarの問題は，その課の文法項目が実際にどのように使用されるかを確かめるものでもあります。Listening Exerciseでは，実際に起こり得る会話を聴き，内容を理解すると共に，話す場面での文法項目の理解も確かめます。最後のProduction Exerciseは，書くことや話すことを前提とした練習です。その課で学習したポイントが理解できているか，発話できるかの実践の場です。特にLesson18以降のパラグラフの学習を中心としたパートでは，あるテーマにそって短いパラグラフを書く事を目指しています。

語彙と例文の選定は，よく使用されるものを可能な限り多く含めるように努めました。この例文はできるだけ暗記して，必要な時に自然に使用できるように学習されれば，日常や簡単なビジネスの英語はかなり使いこなせるようになります。また，語彙力増強，英語の背景知識の理解，日本文化の紹介などにも十分配慮しました。担当教授者の指示で，よく学習してください。

本書を利用して英語を使える人が多く出てくることを希望します。